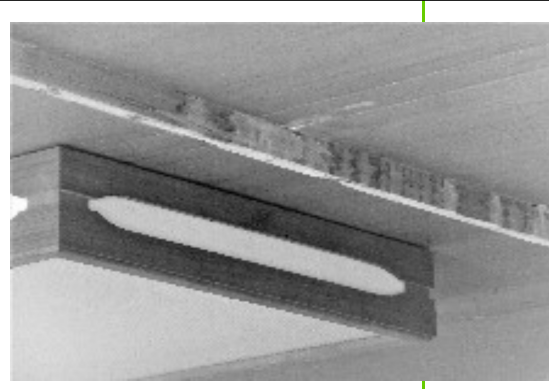


農村地域「交通空白地帯（前公室長）」を限界集落にしないために

霞ヶ浦地区南小学校の放課後児童クラブは保育園の園児が昼寝する狭い隣の部屋で6年間生活しています。検討を約束してきた保健センターは未だに雨漏りの調査修繕が行われていません。避難所の農村環境改善センターの雨漏りは未修理。平成30年予算化された同センター改修設計委託は見直しで延期されたままです。他方9月補正予算で雪入ふれあいの里ネイチャーセンター改修設計工事3400万円が計上されています。「公平市政、改善センターは改修設計・工事について緊急性を指摘しました。」



「改善センターの雨漏り」昨年9月台風で避難者がバケツで一晩過ごした一階8畳間の放置されている雨漏り跡。



放置される保健センター雨漏り、修繕し児童クラブの活用が待たれる。



霞ヶ浦南小放課後児童クラブ 右2部屋と正面部屋が園児昼寝する保育質隣室の児童クラブ室

＜県共済加入促進協パンプから＞茨城県南部想定地震Mw7.3震度6以上の揺れが想定されています。

放置される避難所体育館の耐震工事、このままでは廃墟に

6年が経過する霞ヶ浦地区の閉校小学校の写真（10月撮影）体育館は「避難所に指定」されているが耐震工事は未だに行われていない。（千代田中下稲吉中地区は全て完了されており、大地震の安全対策が取られている。）又体育館の分電器や分水機は整備しておらず緊急時の装備は喫緊の課題である。



志士庫小学校避難所体育



佐賀小学校避難所体育館



牛渡小学校避難所体育館



下大津小学校避難所体育館



交通会議アンケート結果は
霞ヶ浦中地区

千代田中地区

霞ヶ浦中千代田中地区の通学の足が無い高校生
高校生は神立駅まで家族の送迎で通学しています。

『立地適正化計画アンケートから』

・ほぼ毎日通学のためJR神立駅を利用する人が
大多数である。

・送迎時の待ち時間に利用できる施設（待合所）
がない。（高校生会）

・本市に住み続けた人は0人だった（高校生会）
・霞ヶ浦南小 送迎のみは神立駅を利用する。

「辻前公室長は、バス待合室を霞ヶ浦庁舎や停
留所に設置していくことを約束しています。」



県下で唯一 7-8月給食が実施されず3000人が弁当を余儀なくされました。

宮嶋、矢口、佐藤、設楽、議員が給食実施の緊急要望書提出！アンケートが実施され500人の仕出し弁当が実現！一般質問で水戸市の給食実施緊急措置を紹介、教育長が「給食室の改善予算計上を約束」しました。

夏の高温時の給食実施に向けて

【一覧表】 教育委員会提出資料 令和2年7月

| 学校名 | 給食室 | 空調設備 | | | | 調理用 冷房 チョッキ | |
|------------|-----|----------------|-----------|-----------|-------------|-------------------|--|
| | | 下処理室 | 調理室 | 洗浄室 | 配膳室 3~4坪 | | |
| 霞ヶ浦南小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | |
| 霞ヶ浦北小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | |
| 霞ヶ浦中学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | |
| 志筑小学校 | × | 千代田中学校から配膳室へ配送 | | | | × | |
| 上佐谷小学校 | × | 千代田中学校から配膳室へ配送 | | | | × | |
| 千代田中学校 | ○ | × | × | × | × | × | |
| 新治小学校 | ○ | × | × | × | × | × | |
| 七会小学校 | ○ | × | × | × | × | × | |
| 下稲吉小学校 | ○ | × | × | × | × | × | |
| 下稲吉東小学校 | ○ | × | × | × | × | × | |
| 下稲吉中学校 | ○ | × | × | × | × | × | |
| 要対策 | | 6校 | 6校 | 6校 | 11校 | 9校 | |

スポットクーラー又は室内冷房設備、冷房チョッキが必要です。

※配膳室の空調は設置されて来なかった。
 ※調理の際の冷房チョッキは、これまで準備されていない。
 ※水戸市では急遽スポットクーラー、冷房チョッキを配置し夏の児童生徒の給食を実施しました。

緊急対策項目

- 1、千代田地区の空調設備 6校
 - 2、従来未設置の配膳室の空調対策 11校
 - 3、調理人の冷房チョッキ対策 9校
- ※給食費4100円/月の公会計は令和3年度から実施。
 公会計未実施は県内数校、教師が回収に奔走している。

千代田地区の給食室に冷房・エアコンを

緊急申し入れ書

7月27日から8月31日までの授業日の間は、常温保存可能な腐敗しにくい食材を採用するなど工夫をしながら、できるだけぎりぎり学校給食を提供すること

2. どうしても学校給食が提供できない場合、希望者に昼食の仕出しを手配するなどして、保護者負担の軽減を図ること

1. 緊急申し入れ書

かすみがうら市長 坪井透 殿

かすみがうら市教育長 大山隆雄 殿

令和2年6月18日

かすみがうら市議会議員 矢口龍人 佐藤文雄 設楽健夫 宮嶋謙

（設楽）一般質問

質問1）「給食室の整備も、特に千代田地区の未整備状態が放置されてきており、3000人の児童生徒が夏期給食を受けられない事態に追い込まれた。実施出来るなかったのは県内で当市だけではない。議員4名の緊急要望にもより希望者500人出た。今年度かすみがうら市は残念ながら、来年はそうい

う、最優先にして進めたい。説明を求め

「給食について、説明を求め

「給食について、説明を求め

「給食について、説明を求め

「給食について、説明を求め

「給食について、説明を求め

「給食について、説明を求め

「給食について、説明を求め

「給食について、説明を求め

「給食について、説明を求め

「給食について、説明を求め

「給食について、説明を求め

「給食について、説明を求め

「給食について、説明を求め

「給食について、説明を求め

シラスうなぎ 0.2g~0.5g/尾
2000~5000尾/k g
天然うなぎ 成鰻まで3年~4年
養殖うなぎ 32℃-35℃で養殖
(鹿児島：温泉水30℃利用)
成鰻まで6ヶ月~1年
水産多面的發揮事業 平成25年開始
令和元年クロコウなぎ放流事業
クロコウなぎ 1年うなぎ
10cm~15cm 数10尾/k g
霞ヶ浦 271.9kg
北浦 667.0kg

3年で成鰻に育つ
霞ヶ浦の天然うなぎ



川本うなぎ 出5口成635うと鰻天然
水一な茨城尾で鰻ケ℃な言まで
門でぎの県のの尾なから温はま
のすの採のす。市四、1養℃。か
魚が採のす。市四、1養℃。か
道、捕シ、場尾一年殖か養殖
か常はラ、場尾一年殖か養殖
ら陸日ス、に・キででら殖る成

ありうるまそがま成かいな揮様てス霞
りうるまそがま成かいな揮様てス霞
ますなほ潤んは全う、流ク多。は入るシ
す。の味の海全う、流ク多。は入るシ
おし北とくなく3年れう
店い岸つ足ぎ年れう
が天になりのかてう

霞ヶ浦を鰻遊・天然ウナギの名所に

は名然霞
、所うヶ
魚になぎ浦
道する日本遊
にるるの天
上たため一の
がるにの
うとす
なを呼びシ
こが要び入ラ
す。入るう

2020年全国シラスうなぎ採捕/池入れ結果 (養鰻新聞)

| | 採捕 kg | 割合 | 養殖池入 | 割合 |
|------|----------|-------|---------|-------|
| 茨城県 | 2072.6 | 19.0% | 0.0 | |
| 千葉県 | 1442.3 | 13.2% | 50.0 | 0.3% |
| 静岡県 | 1635.4 | 15.0% | 1955.7 | 9.8% |
| 愛知県 | 1865.0 | 17.1% | 4464.1 | 22.5% |
| 徳島県 | 706.3 | 6.5% | 540.0 | 2.7% |
| 高知県 | 368.4 | 3.4% | 548.3 | 2.8% |
| 熊本県 | 121.9 | 1.1% | 310.0 | 1.6% |
| 大分県 | 67.9 | 0.6% | 93.2 | 1.6% |
| 宮崎県 | 250.0 | 2.3% | 3440.0 | 17.3% |
| 鹿児島県 | 739.7 | 6.8% | 7786.3 | 39.2% |
| 合計 | 10794.29 | | 19862.8 | |

能・に魚将むの・協た将・向やウ・意
向今つ道来運試河に設の来漁上、ナ
上後い隔の用験川対計の協のへ夜、こ
をと言壁対基期部す・水かのの間が
はも及等、とをにか説構門らは待を
か国が、あ全し作おら明と体要を
つ、あ全し作おら明と体要を
て、あ全し作おら明と体要を
い、あ全し作おら明と体要を
く、あ全し作おら明と体要を
こと、あ全し作おら明と体要を
を、あ全し作おら明と体要を
確、あ全し作おら明と体要を
認、あ全し作おら明と体要を
し、あ全し作おら明と体要を
調、あ全し作おら明と体要を
査、あ全し作おら明と体要を
機、あ全し作おら明と体要を

広域行政

常陸川水門魚道の効果向上等に関する要望書 (全文)

かすみがうら北浦は、かつて天然ウナギの漁獲量が毎年200トンも合った一大産地として知られ、親ウナギ(ボッカ)が育つには最適とされた湖です。湖にはエビ、ハゼ、モツゴ、その他小魚がたくさん生息し、また山あいには谷津田があり、水路や小川にザリガニ、蛙、みみずといったウナギの餌となる生物がたくさんいて、その餌を食べたウナギが丸々と太り、親ウナギとなって海に下っていきました。その後霞ヶ浦北浦は霞ヶ浦開発事業により水がめ化され、環境は激変しましたが、我々漁業者は魚類の生息環境の改善や資源回復のため、ヨシ帯の保全や資源管理に取り組み、年変動はありますが近年はワカサギやシラウオ、エビ等も回復が見られるようになりました。

このような中、ウナギが絶滅危惧種となり、蒲焼きに代表される日本の食文化の存続も危ぶまれる状況となっております。国をあげて対策が講じられていますが、我々漁業者は湖内へのシラスウナギの遡上を促進させることが出来れば、豊富な餌で親ウナギが育ち、海に下って資源回復に貢献できるのではと話し合っております。

国におかれましては、魚の生態系や生息環境の改善のため、平成21年度に常陸川水門に魚道を整備していただきました。その後魚道の運用について調査検討が重ねられ、平成31年3月にはウナギも遡上していることが報告されました。河川環境の改善が図られていることに深く感謝申し上げる次第です。魚道は平成31年4月からは夜間も含む周年24時間運用とし、3年間のモニタリングを経て問題なければ本格運用に移行する計画との説明を受けました。今後、遡上が進められ、資源回復に貢献するのではと期待しているところです。

つきましては、現在の魚道が魚類の往来に一層の機能を発揮できるよう、今後のモニタリングでは詳細な検討を行い、必要に応じて改良を行うなどして、魚類の生態に十分配慮した魚道の構造・運用がなされますよう要望します。また、将来、常陸川水門本体の改修が行われる際には、魚道で得られた知見を堰の設計検討に活かし、魚類の生息に十分配慮した構造・運用となりますよう、合わせて要望します。

令和元年7月1日

国土交通省関東地方整備局長殿

{霞ヶ浦漁業協同組合 きたうら広域漁業協同組合 麻生漁業協同組合